

## 令和 3 年度「議会報告と町民との意見交換会」のまとめ

### 1 事業の根拠

#### (1) 芽室町議会基本条例第 2 条第 4 項（基本理念）

議会は、広く町民の意思を把握し、町政に的確に反映させることを目的に、議員個々の資質を高め、議会機能の強化並びに活性化に取り組み、議会力及び議員力を強化します。

#### (2) 芽室町議会基本条例第 4 条第 2 号（委員会及び委員長の活動原則）

町民に対し審査の経過及び所管する行政課題等に対処することを目的に、意見交換会等を開催すること。

#### (3) 芽室町議会基本条例第 8 条第 5 項（町民参加及び町民との連携）

議会は、議会報告と意見交換会を毎年開催するなど、広く町民の意見を聴取する機会を確保し、議会、議員による政策提案を行います。

#### (4) 芽室町議会「議会報告と町民との意見交換会」の実施規程

### 2 令和 3 年度事業の目的

現在、取り組んでいる議会活動を報告し、町民の提言や意見を議会活動及び議会運営に反映すること。

### 3 議会報告事項 「議員の報酬・定数等のあり方について」

### 4 意見交換会テーマ

#### (1) 子どもからお年寄りまですべての世代に愛される新嵐山スカイパーク

#### (2) 子どもたちの学習環境整備

### 5 対象者 町内小中学校単位の PTA（6 団体）

### 6 事業実施手法

#### (1) 3 班体制（議員 5 人 1 班編成）で 6 か所で実施する。

（芽室小、芽室中、芽室西小、芽室西中、芽室南小、上美生小中）

#### (2) 1 2 月から 2 月末までの期間とする。

#### (3) 具体日程は各 PTA の指定する日時及び場所とする。

## 7 事業実績

- |             |               |           |
|-------------|---------------|-----------|
| (1) 芽室中学校   | 令和3年12月14日(火) | 参加者数(18人) |
| (2) 上美生小中学校 | 令和3年12月17日(金) | 参加者数(13人) |
| (3) 芽室西小学校  | 令和4年1月12日(水)  | 参加者数(9人)  |

## 8 中止事業

- (1) 芽室南小学校(令和4年1月26日予定)
- (2) 芽室小学校(令和4年1月28日予定)
- (3) 芽室西中学校(令和4年2月2日予定)

## 9 議会報告のまとめ 別紙1

## 10 意見交換会のまとめ 別紙2

## 11 意見交換会の記録 別紙3

## 12 各種資料 別紙4

- ・令和3年度「議会報告と町民との意見交換会実施要領」
- ・議会報告「議員の定数と報酬のあり方について」
- ・令和3年度議会フォーラム(PTAの皆さんとの意見交換会)
- ・「議会報告と町民との意見交換会」参加者アンケート
- ・令和3年度学校一覧表
- ・令和3年度芽室町PTA連合会役員名簿

## 議会報告「議員定数と報酬のあり方について」のまとめ

関係資料に基づき、令和3年11月末時点での検討経過、議論の視点、今後のスケジュールについて、各会場で説明をした。

芽室西小学校PTAからは、「議会内での議論に委ねる。」「議員数を減らす必要性は感じていない。」「報酬の増も町民のためになるなら良い。」などの意見が出された。

このテーマの結論については、令和4年9月頃を目標とし、議会はもとより議会改革諮問会議及び議会モニター会議においても議論を行っていることから、検討状況を「議会だより」で引き続き広報し、随時、町民が意見できることを積極的に広報していくこととする。

## 意見交換会①

「子どもからお年寄りまですべての世代に愛される

新嵐山スカイパーク」のまとめ

総務経済常任委員会では、今年度の政策課題（年間重点調査研究事項）の一つに「新嵐山改革」を掲げた。

新嵐山改革については、スキー場関係者等からの関心も高く、この改革の経緯と実態について議会に対し意見交換の要請があり、今年度において3度実施したところである（令和3年9月、10月、4年2月）。

そのため、今回の意見交換会では、既に聴取した意見と同類の内容も多く見受けられ、改めて、新嵐山に対する町民の率直な思いや感想を実感できる貴重な機会となった。

なお、いただいた個々の意見については、次の手順で分類・精査し、議会が果たす役割と責務の視点に置き換えて整理した。

- 1 意見の分類（住民の視点）
  - （1）意見及び感想
  - （2）不満及び批判
- 2 対応の分類（議会の視点）
  - （1）短期的視点（緊急的対応）
  - （2）長期的視点（計画的対応）
- 3 客観的視点での精査
  - （1）事実確認（現場、現物、現実）
  - （2）対峙の視点（相反する対象の視点）
- 4 課題解決の要素整理
  - （1）ヒト・モノ・カネへの影響整理
- 5 解決策・対応策の確定
  - （1）調査研究の要否
  - （2）調査研究のスケジュール、手法、目標設定

その結果、総務経済常任委員会として、今回の意見交換会を踏まえて取り組むべき事項を次のようにまとめた。

なお、詳細については、次年度の政策課題として掲げる際に、改めて委員会内で協議・検討し決定する。

1 町民が愛着をもてる施設運営及び整備に向けた創意工夫について

町の各事業（教育、福祉、観光、産業等）における積極的な施設活用について、その可否や要否を調査研究する。

町全体（全庁）として、町民に対する施設の認知度・利用度を高めるために、各事業等での取組みを促すよう、その実現に向けた手法や手順を調査研究する。

2 経営状況の公表等について

経営及び利用状況等に関する住民への定期的な情報の公表について、委員会で協議・検討する。町民との意見交換会では、改革による期待と不安はいずれも「感覚」の傾向を強く感じたことから、町に対して、新嵐山の経営及び運営状況の「事実」の公表により、住民に理解される財産となるよう、その実現に向けた手法や手順を調査研究する。

なお、議会だより等を通じて、今後の取組状況を都度広報し、住民の皆さんとの情報共有に努めると共に、併せて広く意見をいただきながら「子どもからお年寄りまですべての世代に愛される新嵐山スカイパーク」の実現を目指すものである。

## 意見交換会②「子どもたちの学習環境整備について」のまとめ

厚生文教常任委員会では、今年度の政策課題（年間重点調査研究事項）として「子どもたちの学習環境整備」を掲げ、3つの課題を調査項目として取り組んできた。

- ① ICT 活用に向けての環境整備（ハード・ソフト両面）
- ② CS に係る町民周知及びボランティア受入れの体制整備
- ③ 年間出生数の減少による中長期視点での校区編成

そのうち、①ICT の環境整備については、新型コロナウイルス感染症対策として「GIGA スクール構想環境整備事業」の実現に緊急性が求められていることから、現地視察を実施するなど（令和3年11月）、調査を深めてきた。

今回の意見交換会では、「GIGA スクール」に関する事項について、保護者視点での期待や不安が多く見受けられ、改めて、町民の率直な思いや感想を実感できる貴重な機会となった。

また、少数意見として、部活動の悩み、スクールバスの停留所の整備、災害教育の充実、子どもの居場所に関する声があり、これらについては速やかに町（担当課）に実態を確認し、今後の取組みについて、議会内部で協議する。

なお、いただいた個々の意見については、次の手順で分類・精査し、議会が果たす役割と責務の視点に置き換えて整理した。

- 1 対応の分類（議会の視点）
  - （1）短期的視点（緊急的対応）
  - （2）長期的視点（計画的対応）
- 2 客観的視点での精査
  - （1）事実確認（現場、現物、現実）
  - （2）対峙の視点（違う立場の視点）
- 3 課題解決の要素整理
  - （1）ヒト・モノ・カネへの影響整理
- 4 解決策・対応策の確定
  - （1）調査研究の要否
  - （2）調査研究のスケジュール、手法、目標設定

その結果、厚生文教常任委員会として、今回の意見交換会を踏まえて取り組むべき事項を次のようにまとめた。

なお、詳細については、次年度の政策課題として掲げる際に、改めて委員会内で協議・検討し決定する。

1 芽室町教育委員会 ICT 整備活用指針の調査について

GIGA スクールの実施に際し、現行指針が保護者の期待や不安を明確にさせる「拠り所」として機能するよう、その内容や展望について調査研究する。

2 芽室町立小中学校配置計画について

令和8年度までを計画期間とする現行計画について、課題解決の時間軸を意識しながら調査研究する。

なお、議会だより等を通じて、今後の取組状況を都度広報し、住民の皆さんとの情報共有に努めると共に、併せて広く意見をいただきながら芽室町の個性と特長が反映される「学習環境の整備」の実現を目指すものである。